

教職員の負担軽減とメンタルヘルス対策

I 教職員出退勤管理システムの導入

● 事業の概要

教職員の事務処理の負担軽減や健康管理のために、ICカードによる出退勤管理システムを導入する。
経費：約 30 万円

● 実施状況・予定

5月 出退勤システムのソフトウェア（打刻ちゃん touch）及びICカードリーダーを各学校に配布
6月～ 運用開始
7月～ 運用結果として、各教職員の月ごとの勤務時間外の在校時間を報告。

● 活用策

勤務時間外の在校時間集計表を面談等で活用 など



II 初任者メンタルヘルス（傾聴ボランティアによる傾聴）

● 目的

教職員のメンタルヘルス不調の未然防止対策の一環として、教職員自信のストレスへの気づきを促すことを目的に、カウンセラーによるボランティアでの傾聴を実施するもの。平成 28 年度から実施しているパソコン等の専用サイトを使用したストレスチェックと併せて実施し、対面での肯定的な傾聴による気づきや、精神的な安定を促す効果が期待できる。

● 事業内容

- (1) 対象者 平成 29 年度新採用者（県費負担教職員）17 名
- (2) 傾聴者 一般社団法人日本産業カウンセラー協会所属 佐々木健男氏
- (3) 経費 1 日あたり費用弁償として 1, 400 円
- (3) 実施方法
 - ・新採用者が勤務する学校において、会議室等で実施
 - ・1 人 40 分程度
 - ・傾聴内容は、本人の同意なく教育委員会が把握することはない。

● 実施状況・予定

平成 29 年 6 月 14 日よりスタート。8 月 4 日まで全 10 回にわたり実施する。